

オールセラミック修復の勘所

歯科医療技術が急速に進歩する中、患者様の歯科医療、歯科技工物への要求も幅広く高度になってまいりました。

それと共に補綴物の材料が急速に進化しておりますが、歯科医師の皆様には、非常に分かりにくくなってきているのではないのでしょうか。

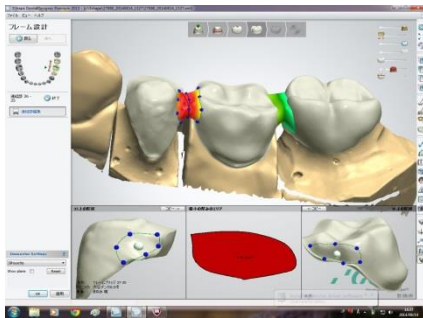
また2014年4月から保険導入されたCAD-CAMクラウンですが、技工精度を高めるのはもちろんの事、オールセラミック修復と同様に支台歯形成、接着処理が重要になってきます。

また、チェアサイドでの印象採得による患者様の負担を軽減するためにも、口腔内スキャニングが普及の兆しを見せています。

当社はシロナコネクタ登録ラボに認定されており、患者様、歯科医院様にスムーズな補綴物の提供が可能です。

そこでオールセラミック材料のジルコニア、e.max（2系酸リチウム）に焦点をあて、患者様、医院様のニーズにお答えできるようご紹介したいと思います。

- ・フレームの選択（補綴部位・支台歯の色）
- ・製作方法を理解し支台歯形成に生かす
- ・ジルコニアとe.maxの違い
- ・オールセラミックの接着（保険 CAD/CAM 冠含む）
- ・IOS（イントラオーラルスキャナー）使用の注意点
- ・シールドテイキングのポイントとラボサイドへの情報伝達



主催/お問い合わせ

株式会社 D L P 工藤

〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-28-17 ニチエービル 2F

Tel 03-5704-8137 fax 03-5704-8543

e.mail dlp120@ybb.ne.jp

----- ✂ -----
貴医院名 _____

第1希望日時 2019年 月 日 曜日 AM / PM :

第2希望日時 2019年 月 日 曜日 AM / PM :

参加予定 Dr. 人 DH. 人